

『真光寺川 里親の会』通信

3月号 一通算第84号

2008年3月9日

2月例会—東京スーパーエコタウン見学

真

光寺川を清流にする会の2月例会は、東京スーパーエコタウンの見学会でした。当日は前夜からの雪が一転し快晴に恵まれましたが、放射冷却現象のため非常に寒い一日でした。エコネット町田からの参加者は12名で、朝9時にりんかい線の東京テレポート駅に集合し、(財)東京都環境整備公社の準備したバスで、他の見学者とともに午前は2社、午後に1社を見学させていただきました。

東京スーパーエコタウンは羽田空港北側の大田区に位置し、城南島に6社(家電リサイクル関連2社、建設廃棄物処理関連2社、バイオ関連2社、今後4社進出予定)、一方、中央防波堤内側埋め立て地には、PCB廃棄物処理会社と産廃・医療廃棄物処理会社の2社が稼働しています。都内で発生した産業廃棄物は、従来は都外で処理されていましたが、できるだけ都内で処理していこうとの発想で進められたものだそうです。



東京スーパーエコタウンにて

最

初は建設廃棄物処理会社である(株)リサイクル・ピア。ここでは一日約1000トンの建設廃棄物を受け入れ、大規模な機械設備により分別、洗浄、加工等を行い、廃棄物の約90%をリサイクル資材として販売しているとのことでした。建設廃棄物は産業廃棄物の中で発生量が最も多く、そのリサイクルは大変重要です。圧倒的に多い中小の建設会社は処理委託費と埋め立てコストと比べて安価な方を選択するのは致し方なく、従って最終処分がなかなか減らないのが実態でしょう。尚、アスベストは排出事業者で分別することになっているため、それを信頼している、一方、従業員の健康維持のため、事業所内のアスベスト濃度を定期的に測定しているとのことでした。

次

は家電リサイクル会社の(株)フューチャー・エコロジーです。ここはエコタウンの中で最も早く事業を開始した会社で、平成16年4月の稼働です。家電リサイクル法対象4品目の内のテレビとエアコンを解体し、分別された部材を販売しています。扱う品物の型番や大きさが異なるため、基本的には人海戦術です。冬は寒い中おそらく夏は暑い中で大変な作業だと思えます。尚、エアコンのフロン類は抜き取り、専門の分解業者へ送って処理しているそうです。また、パソコンのリサイクル(リユース)も行っているそうですが、個人情報保護管理のために公開はしていないとのことでした。

昼

食後は、東京臨海リサイクルパワー(株)の見学です。ここでは都内発生の産廃プラスチックの約1/3を処理できる一日550トン能力のガス化溶解炉と同じく都内発生の医療廃棄物の約2/3を処理できる能力を持つ焼却炉のある大規模施設です。処理に伴い発生する熱を蒸気として回収することにより発電を行っており、約5万5千人分の電力を賄うことができるそうです。しかし、現在はガス化溶解炉能力の約80%、医療廃棄物用焼却炉の50%以下での運転ということで余力があるとのこと。建設時に助成金が出ているとはいえ、これだけ大規模な施設ですので当然処理委託費も高く、それがネックとなって産業及び医療廃棄物の集荷が難しいのだと推察します。



東京臨海リサイクルパワー社のガス化溶解等発電施設

この施設の屋上からは東京湾、房総半島や横浜方面が見え、午前中は富士山も見えたそうです。

一方、近くに目を向けると東京都の埋め立て処分場があり、小高い丘となっていました。その先には東京都最後の最終処分場である「新海面処分場」の建設現場が見えました。ここは東京ドーム100個分の480ha（内埋め立て場は319ha）あり、都内発生約50年分のゴミを埋め立てられるそうです。最近では廃棄物の最終処分量が減少し、最終処分場の残余年数も延びてきていますが、私たちが文明を享受した後のつけを私達の子孫に回していることは紛れもない事実です。広く言われていることですが、リサイクル（出したゴミを処理する）に目を向けるのではなく、リデュース（慎ましい生活をする）こそが最も大切であることを今回の見学を通じて一層感じた次第です。（石黒 正剛記）

東京町田クレインライオンズクラブの皆さんが真光寺川の清掃に参加！！

1・2月号の紙面の都合でご報告が遅れましたが、12月9日（日）真光寺川の清掃作業に初めて東京町田クレインライオンズクラブの皆さんが参加していただきました。昨年3月に市川市会議員の紹介でおいいただきましたが、その日はあいにくの雨で川が増水、作業が中止となってしまいました。今回は天気にも恵まれ、朝9時30分開戸親水に8名の方が参加され、ご挨拶や紹介などののち、清流の会会員と一緒に清掃作業に取り組んでいただきました。当日の回収はゴミ袋25袋にもなりました。有難うございました。今後ご支援をよろしくお願い致します。

高橋日出男さんの1周忌・・・お墓参りへ

光陰矢のごとし。高橋日出男さんが亡くなられて1年がたちました。2月22日、山口会長はじめ清流の会メンバー7名は高橋さんが眠る小野路共働学舎のお墓にお参りしました。周りにまだ雪が一部残っていましたが、墓前には高橋さんが好きだったお花がいっぱい供えられそこだけ春が来ているように見えました。高橋さんが清流の会に残していただいたことに思いをさせ、これからもきちっと残していこうと改めて心に刻み、ご冥福を祈りつつ帰途につきました。



小野路共働学舎のお墓で

『めだか基金』ポスト

※ 郵便振替で北之園様から。町田一中からの講師料。その他基金ポストへの寄付、一木会や見つけ会からの寄付などを合算して、2月は合計9,028円でした。有難うございます。

ご厚志を頂くに当って、ご負担をかけない様に「印字済払込取扱票」をポスト脇のファイルに入れてあります。「赤インク印字の払込取扱票」をご利用頂ければ、手数料無料でお振込みが出来ます。またなるべくATMでの振込みをご利用ください。どうかよろしくお願いいたします。

郵便振替 『00150-4-574114』

加入者名 『真光寺川里親の会』

今回も素晴らしいお便りをいただきました

※地域ぐるみの活動にまで発展された清流にする会の御活躍、感じ入ります。羨ましく思っています。ご発展を祈っています・・・北之園様（宮崎在住で山口会長の小学時代の恩師の妹さん）

4月例会は13日（第2日曜日）です

☆ スケジュール 9:30 開戸親水場 集合

09:30 開戸親水場～下堰親水場のオペレーション（クリーン作戦）

11:30 作戦会議（「いちよう会館」）

12:30 解散予定

『 <http://www.shinkojigawa.com/> 』 ホームページへご意見ご感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山口 拓郎 町田市鶴川1-10-13 TEL/Fax 042-735-0382

事務局：町田市広袴3-24-11 山本隆治 TEL/Fax 042-736-0214 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp